

平成30年度事業報告

概 況

平成30年度の公益社団法人宮城県食品衛生協会（以下「宮城県食協」という。）事業は、公益社団法人日本食品衛生協会（以下「日本食協」という。）の支援及び関係行政当局等の指導を戴き、地区食品衛生協会（正会員、以下「地区食協」という。）と協働して事業計画に基づく各種事業を実施して参りました。

I 組織等に関する事項

1. 組織構成

(1) 役員数

理 事 14名	}	代表理事（会 長）	1名
		業務執行理事（副会長・専務理事）	5名
		理 事	8名
監 事			2名

(2) 正会員数（地区食協）	9名
賛助会員数	2名

(3) 地区食協会員数及び施設数 （平成29年12月31日現在）

会員数	8, 592名	（内自販機会員53名）
施設数	11, 996施設	（内自販機1, 416施設）

<法人運営事業>

2. 会議等の開催

(1) 総会、理事会、会長・副会長・専務理事会議の開催

No.	会 議 名	開催日・会場	内 容
1	総 会	平成30年6月13日 (水) 多賀城分庁舎会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告及び決算について ・理事15名及び監事2名の選任について ・平成30年度事業計画、収支予算の報告について ・食品衛生専門部会委員の件について
2	理事会	平成30年5月18日 (金) 多賀城分庁舎会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告及び決算等総会提出議案について ・社員総会の招集について ・理事、監事候補の承認の件について ・平成30年度事業計画及び収支予算について ・業務執行理事の職務執行状況について
		平成30年6月13日 (水) 多賀城分庁舎会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・会長（代表理事）の選定の件について ・副会長及び専務理事の選定の件について ・総会及び理事会の招集代理の順序の件について ・総会の議長代理の順序の件について
		平成30年10月22日 (月) 多賀城分庁舎会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業中間報告の件について ・事務局長任用の件について ・業務執行理事の職務執行状況について

		平成31年3月8日 (金) 多賀城分庁舎会議室	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認の件について 平成31年度資金調達及び設備投資の見込み(案)の承認の件 公益社団法人宮城県食品衛生協会「食の安心・安全・五つ星事業」実施要領(案)の改正の件について 消費税率改正に伴う各種手数料等(案)の改正の件について 業務執行理事の職務執行状況について
3	会長・副会長・専務理事会議	平成30年4月3日(火) 多賀城分庁舎会議室	<ul style="list-style-type: none"> 九州ブロック役員の北海道・東北ブロック大会への参加について 平成30年度 HACCP 普及のための委託・補助事業について 平成30年度便の微生物検査及び食品検査に関する契約について 厚生労働大臣表彰候補者の選考について
		平成30年5月18日 (金) 宮城県食品衛生協会事務室	<ul style="list-style-type: none"> 専務理事退職に伴う食と暮らしの安全推進課への後任の相談について 6月13日開催の総会・役員改選理事会の件について 平成30年度連絡協議会・ブロック大会について
		平成30年7月26日 (木) 多賀城分庁舎会議室	<ul style="list-style-type: none"> 「食の安心・安全・五つ星事業」の HACCP への対応について 平成30年度食品衛生推進員研修会並びに「小規模事業者向け HACCP の考え方を取り入れた衛生管理研修会」の開催について 事務局長採用に関する勤務条件等について
		平成30年10月2日 (火) 多賀城分庁舎会議室	<ul style="list-style-type: none"> 知事表彰者及び会長表彰者選考について 中間理事会の議案について
		平成30年12月18日 (火) 多賀城分庁舎会議室	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度食品衛生推奨の店の審査について
		平成31年3月8日(金) 多賀城分庁舎会議室	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認の件について 平成31年度資金調達及び設備投資の見込み(案)の承認の件について

(2) 専門部会の開催

当協会が実施する各種事業の展開と円滑な運営を図る為、「総務・組織部会」及び「指導・普及事業部会」並びに「福祉事業部会」の3部会を開催しました。

部 会 名	開催日・会場	内 容
-------	--------	-----

総務・組織部会、指導・普及事業部会、福祉事業部会合同会議	平成30年9月6日 (木) 多賀城分庁舎会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・「食の安心・安全・五つ星事業」の推進について ・「あんしんフード君」等食品営業賠償共済事業推進計画について ・平成30宮城県食品衛生指導員大会について ・会報「みやぎ食品衛生」編集
------------------------------	-------------------------------	--

(3) 職員会議、役員及び事務職員合同研修会の開催

当協会が実施する各種事業の円滑な運営を図る為、事務職員、役員・事務職員合同研修会を開催しました。

部 会 名	開催日・会場	内 容
役員及び事務職員研修会並びに食品営業賠償共済推進会議	平成31年2月5日 ～6日 (火～水) ホテルグランドパレス 塩釜	<ul style="list-style-type: none"> ・「あんしんフード君」等の加入促進について ・公益社団法人に係る社員（社員総会）、理事（理事会）、役員等について ・地区食品衛生協会提出の課題検討について ・平成30年度北海道・東北ブロック大会の報告について ・講演「外科医の食卓」について

(4) 公益社団法人 日本食品衛生協会の会議等への参加

	会 議 名	年月日・会場	内 容
1	(公社)日食協 定時総会	平成30年6月15日(金) 東京都 食品衛生センター	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告について ・平成29年度計算書類の承認について ・平成31年度正会員会費算定基準について ・役員の改選について ・平成30年度事業計画及び収支予算の報告について
2	(公社)日食協 第65回 全国支部 長会議	平成30年10月24日(水) 東京都 食品衛生センター	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業の進捗状況について
3	食品衛生功労者・食品衛生優良施設表彰式	平成30年10月25日(木) 東京都 明治座	<ul style="list-style-type: none"> ・表彰について
4	(公社)日食協 第6回福利厚生委員会	平成31年2月19日(火) 東京都 食品衛生センター	<ul style="list-style-type: none"> ・各種共済事業の進捗状況について ・普及推進員の制度の見直しについて ・「あんしんフード君」推進目標の設定について ・HACCPセミナーについて

5	(公社)日食協 第6回事業運営委員会	平成31年3月6日 (水) 東京都 食品衛生センター	・食品衛生法に基づく営業許可等情報に係るオープンデータ推奨セット案の送付について ・各委員会の報告事業について
6	(公社)日食協 第66回全国支部長会議	平成31年3月22日 (金) 東京都 食品衛生センター	・2018年度(平成30年度)事業報告について ・理事会承認事項について ・2019年度事業計画・収支予算等について

(5) 北海道・東北ブロック連絡協議会及びブロック大会等への参加

① 北海道・東北ブロック連絡協議会

開催日時	平成30年6月6日(水)～7日(木)
開催場所	南三陸ホテル観洋 宮城県
出席者数	30名

② 北海道・東北ブロック大会

開催日時	平成30年6月7日(木)～8日(金)
開催場所	ホテル 松島 大観荘 宮城県
出席者数	402名

③ 北海道・東北ブロック連絡協議会 三部会長会議

開催日時	平成30年10月5日(金)
開催場所	ホテル仙台ガーデンパレス 宮城県
出席者数	4名

II 事業活動の内容

事業計画に基づく公益目的事業、収益事業等の執行状況は次のとおりです。又、事業の詳細は別紙資料のとおりです。

<公益目的事業>

1. 食品衛生に関する自主衛生管理の推進事業

県費補助金(自主活動育成事業)962,000円及び公益社団法人日本食品衛生協会食品衛生指導員活動特別補助金(食品衛生指導強化費)470,590円の交付を受け、次の事業を行いました。

(1) 食品衛生指導員活動支援事業

食品衛生指導員715名に指導員活動に要する食品衛生指導票372部を作成し配布しました。

地区食協は、日本食協が策定した重点指導項目及び当協会の指導項目に基づいて、食品衛生指導票を活用し営業施設の巡回指導を行いました。

1) 重点指導項目

○HACCPの考え方に基づく衛生管理の実施

2) 巡回指導項目の徹底

管理運営基準の周知・遵守の徹底、自主的な衛生管理の確立の推進、食品営業賠償共済(「あんしんフード君」及び「スーパーあんしんフード君」を含む)など各種共済の加入促進、食品営業者検便・食品衛生検査の徹底及び月刊「食と健康」の購読の推進等を行いました。

(2) 第55回宮城県食品衛生指導員大会の開催

指導員の資質の向上と連携を図り、各種受賞者の栄誉を称える等の為、大会を開催しました。

- 1) 開催日時・場所 平成30年11月28日(水) ホテル 白萩 (仙台市)
- 2) 参加者 97名
- 3) 第1部 表彰 知事表彰 (食品衛生功労者4名、食品衛生優良施設4施設)
会長表彰 (食品衛生功労者18名)

4) 第2部 体験発表者 3名

震災体験から食品衛生の大切さを感じて 岩沼食品衛生協会 佐藤 智明 氏
食品衛生指導員としての自覚 大崎食品衛生協会 金村 文彦 氏
指導員としてのこれからの在り方、自覚について 気仙沼保健所管内食品環境衛生組合
連合会 畠山 憲之 氏

5) 第3部 食品衛生講演会

演題 輸入食品等の安全性確保と違反事例について

講師 厚生労働省 仙台検疫所 食品監視課 輸入食品相談指導室長 白坂 信和 氏
又、大会終了後、受賞者祝賀会を開催しました。

大会の内容は会報「みやぎ食品衛生」に掲載しました。

(3) 食品衛生指導員研修会等の開催

食品衛生指導員の資質及び食品衛生知識の向上と指導技術の研鑽を目的として各地区食協で実施しました。又、日本食協が9月10日～11日の2日間さいたま市で開催した全国研修会に石巻、大崎地区食品衛生協会の2名を派遣しました。

2. 食品衛生責任者講習会の実施事業

食品衛生法施行条例及び食品衛生法施行細則の規定に基づき知事から食品衛生責任者講習会実施の指定を受けて養成講習会、実務講習会を開催しました。実施に当たっては講習会開催事務等を各地区食協に委託すると共に、6月20日、多賀城分庁舎会議室において宮城県環境生活部食と暮らしの安全推進課及び講師(行政の講師を除く。)と講習日程、内容、時間等について打合会議を行いました。

- (1) 養成講習会18回実施、受講者 1,050名 養成講習会受講免除者 118名
- (2) 実務講習会36回実施、受講者 1,441名

3. 食品衛生知識の普及啓発事業

(1) 食品衛生推進員活動事業

宮城県から食品衛生推進員活動事業を受託し、知事の委嘱を受けた98名の食品衛生推進員が各地区食協において食品衛生責任者講習会の開催時や食品営業許可更新受付時などに相談窓口を設置し、食品衛生に関する相談・助言、食中毒予防等の食品衛生知識の啓発等を行いました。

食品衛生推進員活動に要する費用については、各地区食協の活動実績に基づき委託費から所要額を配分しました。

食品衛生推進員委託業務事業委託費：2,023,920円

又、最新の食品衛生に関する知識を習得し、指導・相談に資する為、日本食協と宮城県食協が共催する「小規模な事業者向け HACCP の考え方を取り入れた衛生管理研修会」に参加しました。

- ・実施月日：平成30年8月28日（火）
- ・実施場所：ホテル白萩
- ・受講者数：105名
- ・講師：日食協 岡本 愛 HACCP 普及員 竹内 正子

(2) 食中毒予防月間事業

細菌性食中毒が増加する時期の前に、宮城県が設定する食中毒予防月間（6月15日から7月14日）に合わせ、食品等事業者及び家庭からの食中毒等の事故の発生を防止する為、次の事業を行いました。

1) 食品衛生知識の普及啓発

食中毒の防止を内容とした食品等事業者及び消費者向けのパンフレット7,000部を作成し、宮城県9保健所・支所又は各地区食品衛生協会の窓口や食中毒予防キャンペーンの会場で食品等事業者を始め多くの県民の方に配布し啓発しました。

2) 食中毒予防キャンペーンの実施

各地区食協において、食品衛生指導員を中心に食品衛生推進員など総勢164名が朝市やスーパーマーケット等11か所でキャンペーン、又、市内の主要道路において食中毒防止パレードを行いました。

食中毒防止パンフレット、食中毒予防啓発用うちわ等を配布して食品等事業者や県民延5,450人に対して食中毒予防を呼びかけました。

3) 食品衛生指導員による営業施設の巡回指導の実施

自主衛生管理指導として、食中毒が多発する時期を中心に食品等事業者の施設を巡回し、食品衛生上の管理運営が適正に行われるよう助言・指導を行いました。

4) 厚生労働省・各都道府県が主催する「食品衛生月間(8月)」に協賛し、啓発用ポスターを掲示し、広く県民に食中毒予防の広報を行いました。

(3) 食品衛生情報の提供

1) 食中毒防止等の情報、会報等を当協会ホームページに掲載しました。

2) 会報「みやぎ食品衛生」第100号（10月発行）及び101号（1月発行）を各々9,000部発行しました。

発行に当たっては、編集委員会を開催し編集方針及び内容を協議しました。
会報は日本食協、各都道府県協会等、食品関係団体、食品等事業者等に配布し広く県民に食品衛生関係情報を提供しました。

3) 宮城県から6月12日に魚介類による「腸炎ビブリオ食中毒注意報」が発令(10月25日解除)され、各地区食協を通じて食品関係団体、食品等事業者等に周知を図った。

4) 「ノロウイルス食中毒の予防対策」講習会等の開催

ノロウイルス食中毒は特に冬期は集団食中毒が多発しております。このため10月から11月までに「ノロウイルス食中毒予防強化期間」事業として、3地区食協が開催しました。

○10月11日(木) 登米食品衛生協会 登米市迫町内

○11月2日(金) 岩沼食品衛生協会 岩沼市民会館

○11月8日(木) 登米食品衛生協会 登米合同庁舎

○1月31日(木) 栗原食品衛生協会 栗原合同庁舎

講師 各保健所食品衛生監視員、サラヤ株式会社食品サポート部、株式会社オーヤラックス
仙台営業所

(4) 月刊「食と健康」等刊行物の購読の推進

月刊「食と健康」は食品衛生に関する唯一の専門誌であるので、食品等事業者、食品衛生指導員、食品衛生責任者等に購読の推進を図りました。

<収益事業等>[収益事業]

4. 食品従事者の検便及び食品の自主検査事業

地区食協は、実施計画を作成し、食品等事業者に対して通知及び宮城県食協ホームページに掲載して検査を奨励し、受付事務等を行い提携する検査機関に送付して従事者等検便及び食品自主検査を実施しました。

(一財)宮城県公衆衛生協会と覚書を締結して、検便32,978件(前年比1,246増)、食品自主検査2,207項目(前年比4増)を実施しました。

5. 宮城県収入証紙売さばき事業

宮城県の収入証紙売さばき人の指定を受け、各地区食協(売さばき所)において収入証紙の売りさばきを行い、食品等事業者や各種営業許可申請時及び一般県民等へのサービス向上に寄与しました。

<収益事業等>[その他の事業(相互扶助等)事業]

6. 食品衛生標識制度推進事業

食品衛生自主管理の意欲の増進を図ると共に、標識を掲示し一般消費者の利用の便に供することを目的として、次の標識制度事業を行いました。

取得又は指定された営業施設は、宮城県食協ホームページ、会報等に掲載し、「五つ星」施設は、日本食協ホームページでも掲載されました。

(1) 「食品衛生推奨の店」標識制度

「食品衛生推奨の店に関する規程」に基づき、12月18日に審査会を開催し、地区食協から提出のあった指定申請306施設（内新規0）を指定しました。

○各地区食協は指定申請の受付審査

○宮城県食協は提出された調書等により審査委員会で審査し、指定及び推奨状等を交付

(2) 「食の安心・安全・五つ星事業」標識制度

会員の営業施設において食品衛生自主管理上重要な五項目の管理の実施状況を判定し、「五つ星」標識を掲示する。平成30年度は、継続77施設が取得しました。

○各地区食協は参加申請の受付

○地区食協所属の食品衛生指導員が判定

7. 食品営業賠償共済等推進事業

会員の福利厚生や経営の安定並びに消費者保護を目的とし、各地区食協では指導員の巡回指導、食品衛生責任者講習会等の各種講習会の機会を活用し、次の各種共済事業の推進を行いました。

1) 食品営業賠償共済、「あんしんフード君」及び「スーパーあんしんフード君」並びに「あんしんリコール君（生産物品質保険）」の加入推進

食中毒事件等、のみならず従業員の不注意によるお客の身体や持ち物に対する事故、施設の欠陥による事故などの業務遂行に伴うリスクに対しても幅広く補償する「あんしんフード君」等の食品営業賠償共済の加入について、普及推進員や各地区食協の職員による広報・勧誘を行いました。

2) 食品営業賠償共済推進会議等

推進計画の実施や普及推進員との連携について協議しました。

部会名	開催日・会場	内 容
(公社) 日食協 「あんしんフード君」制度説明会	平成30年9月14日 (金) 東京都 中央大学駿河台記念	・「あんしんフード君」制度内容について ・「あんしんフード君」業種別推進方法について ・「あんしんフード君」普及推進の取り組み事例について ・「あんしんフード君」事務受付方法について
役員・事務職員及び 食品営業賠償共済推進 会議合同研修会	平成31年2月5日 ～6日 (火～水) ホテルグランドパレス 塩釜	・「あんしんフード君」等の加入促進について ・公益社団法人に係る社員（社員総会）、理事（理事会）、役員等について ・地区食協提出の課題検討について ・平成30年度北海道・東北ブロック大会の報告について ・講演「外科医の食卓」について

3) 火災共済、従業員団体傷害保険の加入促進

営業者の不慮の災害に対応して、経営の安定を図る為、加入促進を図りました。

4) 生命共済保険の加入促進

会員及びその家族の将来の生活設計に役立て、経営の安定を図る為、加入促進を図りました。

<食中毒発生状況>

仙台市を除く県内の食中毒発生件数は10件、患者数は36名でした。

県全体では13件、患者数292名で、原因施設として飲食店7施設、家庭3施設、販売店1施設、矯正所1施設、不明1施設でした。

(※食中毒件数・患者数は、平成30年1月から12月までの数です。)

平成30年度 会議・行事の実施状況

年 月 日	会 議 ・ 行 事 名	場 所	
30 4	第1回 会長・副会長・専務理事会議 (厚生労働大臣 表彰選考等)	多賀城分庁舎	
5	午前 18(月) 午後	決算書類等の監査	多賀城分庁舎
		第1回 理事会(決算承認)	
		第2回 会長・副会長・専務理事会議	
25(金)	(公社)日食協 決算理事会	(公社)日食協(東京)	
6	6~7(火~ 水)	北海道・東北ブロック連絡協議会	南三陸町
	7~8(水~ 木)	北海道・東北ブロック大会	松島町
	12日(火)	魚介類による腸炎ビブリオ食中毒注意 報発令	県内
	13(水)	定時社員総会、第2回 理事会	多賀城分庁舎
	15~7/14	宮城県食中毒予防月間	県内
	15(金)	(公社)日食協 定時総会	(公社)日食協(東京)
	20(水)	食品衛生責任者講師打合会議	多賀城分庁舎
	28日(木)	理事等の登記	仙台法務局
29(金)迄	行政庁へ事業報告等の提出	宮城県食協	
7	26日(木)	第3回会長・副会長・専務理事会議	多賀城分庁舎
8	月間	食品衛生月間	県内
	28日(火)	小規模事業者向けHACCPの考え方を取り 入れた衛生管理研修会	ホテル白萩
9	6日(木)	3部会合同会議及び会報「みやぎ食品衛 生」編集会議	多賀城分庁舎
	10~11 (月~火)	平成30年度食品衛生指導員全国研修 会北海道・東北、関東甲信越、東海・北陸 ブロック研修会	さいたま市

	14日(金)	「あんしんフード君」制度説明会	東京都 中央大学駿河台記念館
10	上旬	会報「みやぎ食品衛生」100号発行	宮城県食協
	2(水)	第4回会長・副会長・専務理事会議 (宮城県知事表彰・宮城県食協会会長表彰 選考等)	多賀城分庁舎
	5(金)	北海道・東北ブロック三部会 会議	仙台市
	11(木)	ノロウイルス食中毒予防研修会	登米食品衛生協会
	22(月)	第3回 理事会(中間業務報告等)	多賀城分庁舎
	24日(水)	全国支部長会議・食品衛生指導員全国大会	(公社) 日本食品衛生協会 (東京)
	25日(木)	食品衛生功労者・食品衛生優良施設表彰式	
11	2(金)	ノロウイルス食中毒予防研修会	岩沼食品衛生協会
	8日(木)	ノロウイルス食中毒予防研修会	登米食品衛生協会
	28(水)	宮城県食品衛生指導員大会・表彰	ホテル 白萩
12	月間	年末年始食品一斉取締	県内
	18日(火)	第5回 会長・副会長・専務理事会議 (推奨の店 審査会)	多賀城分庁舎
31 1	上旬	会報「みやぎ食品衛生」101号発行	宮城県食協
	28(月)	「食の安心・安全・五つ星事業」説明会	気仙沼食品衛生協会 宮城県食協
	29(火)	公益法人立ち入り検査	宮城県食協
	31(木)	ノロウイルス食中毒予防研修会	栗原食品衛生協会
2	5~6 (火~水)	事務職員・役員及び食品営業賠償共済推 進会議合同打合会議	ホテルグランドパレス 塩釜
	19(月)	日食協 福利厚生委員会	(公社) 日食協(東京)

3	6 (水)	日食協 事業運営委員会	(公社) 日食協(東京)
	8 (金)	第5回 会長・副会長・専務理事会議	多賀城分庁舎
		第4回 理事会 (予算承認)	
	22 (金)	(公社) 日食協支部長会議、予算理事会	(公社) 日食協 (東京)
29 (金)迄	宮城県公益認定等委員会へ平成31年度事業計画書等の提出	宮城県食協	